

北海道ぎょれん広報

なみまるくん



7

2015
No.321

[うみ・なかま コミュニケーション]

北海道
ぎょれん



特集

第53回 北海道漁業協同組合長会議
第66回 ギョレン通常総会



留萌管内お魚普及協議会が料理教室・販促フェアを開催



料理教室の講師としても、お魚フェアの売り子としても大活躍だった増毛漁協女性部の6人

留 留萌管内お魚普及協議会は、6月5日(金)旭川ときわ市民ホールで留萌の水産物を使用した料理教室を開催しました。この料理教室は、春と秋の年2回、ホクレンショップ直営店でのフェアと併せて平成16年から行われており、毎回好評を博しています。料理教室の開会にあたって、お魚普及協議会会長の増毛漁協相内専務は「今日のレシピが皆さんのレパートリーに加わることを期待しています」と挨拶しました。

今回は増毛漁協女性部の6名が講師となり、えびやほたて、たこがたっぷり入った海鮮塩こんぶサラダ、カレー風味のかれの唐揚げ、鮭といくらの親子ちらし、ぬかにしんの三平汁の4品を作りました。用意されたほたてや甘えび、ぬかにしんなどの大きさと量に参加者の間からは驚きの声が上がります。いざ調理が始まると、参加者のほとんどが主婦とあって、手慣れた様子で作業が進みましたが、ほたての蒸し方やえびの下処理、アレンジレシピは女性部の独壇場。「ほたてを蒸した時の汁はスープにしてもおいしいですよ」「えびを茹でるときは熱湯から」など、そこでアドバイスが聞かれました。

出来た料理は女性部を囲んで和気あいあいと試食。今回が2回目の参加という女性は、「今日は母と妹と一緒に参加しました。どの料理もとても美味しくて、家でも作ってみようと思います。お店のフェアにも行きます」と話してくれました。

料理教室に併せて、6日(土)、7日(日)には旭川と深川のホクレンショップで「留萌お魚フェア」が開催され、増毛漁協女性部と共に、北のりもい漁協初山別地区女性部が売り子として参加しました。料理教室の参加者はもちろん、たくさんのお客様に留萌のなんばんえびやたこ、殻付ほたてなどを購入頂き、早い店舗では販売開始1時間半では完売となるなど、大盛況となりました。



ホクレンショップイチャン店(深川市)でのフェアの様子

[うみ・なかま コミュニケーション]

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
July 2015 No.321



01 **浜の元気印!**
留萌管内お魚普及協議会が料理教室・販促フェアを開催

02 **特集1**
第53回 北海道漁業協同組合長会議

05 **特集2**
第66回 ゑれん通常総会

08 道漁青連が平成27年度第1回地区会長会議・
ぎょれん役職員との懇談会を開催

09 **浜のご意見番 購販推進地区委員長に聞きました**
ぎょれんの仕事、ここがあっぱれ! ここは喝!

10 **浜の家族物語**
函館市漁協/岩田 孝行 さん ご家族

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 なみまるインフォメーション

14 「お魚殖やす植樹運動」植樹行事が行われました

15 本所からこんにちは「購買部」

16 **大漁祈願!**
浜のほっとニュース

17 **みなさんのお便りでつくるページ**
なみまる おたより箱

表紙の写真
函館市漁協/岩田 孝行さんご家族です。



さわやかな初夏の風吹く志海苔漁港

第53回北海道漁業協同組合長会議



強い北海道漁業の確立に向けて、3つの議案が決議された第53回全道漁協組合長会議



ぎょれん 川崎会長



北海道漁業の構造転換を目指して後継者対策、資源対策などの議案を決議

6月18日(木)、札幌市の第2水産ビル大会議室で「第53回北海道漁業協同組合長会議(全道組合長会議)」が開催されました。会議には5月7日(木)の「全道組合長会議 第1回実行委員会」で審議された3つの議案が上程されました。

ここでは、その会議の模様と決議内容についてお伝えします。

開会にあたって、主催団体を代表してぎょれん川崎会長があいさつを行い、続いて高橋北海道知事、道議会を代表して松浦水産林務委員会委員長より来賓祝辞を頂きました。その後、議長に柳谷組合長(白糠漁協)、副議長に今組合長(北るもい漁協)を選任し、議事を進行しました。

提出された3つの議案はいずれも原案通り承認され、今後の具体的な施策の推進に向けて、各系統団体、協議会他関係諸団体との連携を図りながら、強力に推進していくことが確認されました。



議長を務めた白糠漁協の柳谷組合長(左)と、副議長を務めた北るもい漁協の今組合長(右)



松浦宗信道議会
水産林務委員会委員長



高橋はるみ北海道知事

決議内容について

決議第1号

資源増大・管理対策について



発言者
市山組合長
(ひやま漁協)

- (1) 日本海をはじめとする資源増大に向けた栽培漁業の推進
 - ① 各海域の実情に即した効果的な種苗生産事業に対する支援対策を講ずること
 - ② 栽培漁業に係る生産施設等への支援措置を講ずること
- (2) 本道漁業の実態に即した資源管理体制の推進
 - ① TAC制度をはじめとする資源管理制度に関して、各海域の実情に見合った管理方法の見直しを図ること
 - ② 資源回復に向けた地域別の操業体制を確立すること

決議第2号

漁業経営の体質強化対策について



発言者
岩田組合長
(いぶり噴火湾漁協)

- (1) 担い手の確保に向けた支援対策
 - ① 漁村地域を担う漁業者に対する新たな漁船・生産設備の導入支援事業を創設すること
 - ② 漁業後継者の定着に向けた青年就業準備給付金の条件緩和など支援措置の拡充を図ること
- (2) 「浜の活力再生プラン」の実践に向けた諸対策推進
 - ① 「浜の活力再生プラン」の推進に向けた関連事業の拡充を図ること
 - ② 「浜の機能再編広域プラン」の取り組みに対する支援措置を講ずること
- (3) 漁業収入安定対策・漁業コスト低減対策の推進
 - ① 漁業共済制度等の見直しなど、漁業収入安定対策の拡充強化を図ること
 - ② 漁業経営セーフティネット構築事業の制度拡充を図ること
 - ③ 漁業コストの低減に向けた燃油高騰対策の継続とさらなる拡充を図ること
 - ④ 資源水準が低位にある魚種の資源回復を目指す漁業者への新たな経営支援制度を創設すること
 - ⑤ 漁業用燃油税制の免税・還付措置の恒久化を図ること
- (4) 金融対策の推進

平成28年度以降の無保証人型漁業融資促進事業の継続実施を図ること

決議第3号

豊かで安全な漁場環境づくり対策について



発言者
山崎組合長
(上磯郡漁協)

- (5) 水産物貿易問題への的確対応

無秩序な水産物輸入を促す貿易自由化交渉における本道漁業への影響を回避すること
 - (6) 国内外の加工・流通対策の推進
 - ① 国産水産物流通促進事業・需給変動調整事業等の活用に向けた制度拡充を図ること
 - ② 水産物の水揚げから加工および物流機能の拠点整備に向けた支援の拡充・強化を図ること
 - ③ 水産物の需要喚起に向けた魚食普及活動への支援を拡充強化すること
- (1) 有害生物の漁業被害対策の拡充強化
 - ① トド等海獣類による漁業被害に対する実効ある支援制度を創設すること
 - ② 有害生物等(トド・アザラシ・オットセイ等の海獣、クラゲ、ザラボヤ、ヒトデ)の被害防止対策の臨機対応と拡充強化を図ること
 - ③ 有害生物漁業被害防止総合対策事業の拡充を図ること

特集2
SPECIAL

第66回ぎよれん通常総会



- 強化を図ること
- 〔2〕漁場環境保全の推進**
- ① 森林・河川・海洋環境保全および流木等を含めた漂流漂着物対策の拡充強化を図ること
 - ② 年々悪質化する組織的密漁の防止に向けた支援措置の拡充を図ること
 - ③ 甚大な自然災害からの早期復旧に向けた支援措置を拡充強化すること
 - ④ 一定の条件下におけるウニ殻等の海中還元を可能とする資源回復に向けたリサイクル体制の手法を制度的に確立すること
- 〔3〕多面的機能発揮対策事業の継続・拡充**
- ① 水産多面的機能発揮対策事業の継続および活動規模の拡大等を図ること
 - ② 漁村集落直接支払交付金制度を創設すること
- 〔4〕原発災害関連対策**
- ① 福島原発事故の早期収束および全ての原発の安全強化対策を講じること
 - ② 国内外による風評被害の早期解消および韓国等輸入規制の早急な解除を図ること
 - ③ 将来に向けて原発に依存しない体制を目指すし、自然再生エネルギー等の利用の推進を図ること

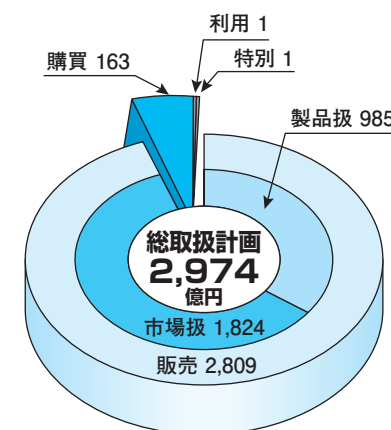
平成26年度取扱金額は3379億円
平成27年度は安定流通の確保に向けて総合的な流通対策事業を更に継続強化

ぎよれん総会は、川崎会長の挨拶（次頁に掲載）ののち、浜中漁協の山崎組合長が議長に選任され、議事が進行しました。「平成26年度の決算」、「平成27年度の事業計画」など、5つの議案が審議され、いずれも原案通り承認されました。



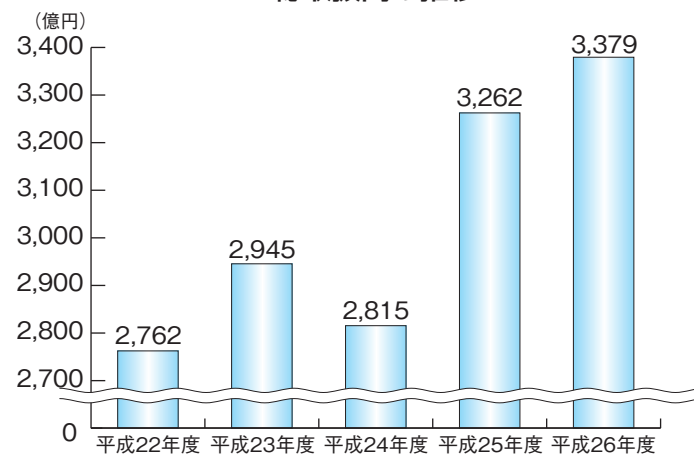
議長を務めた山崎組合長（浜中漁協）

平成27年度事業別取扱計画



〔単位：億円〕

総取扱高の推移



平成27年度 漁協系統運動功労者表彰

全道組合長会議に先立ち、「漁協系統運動功労者表彰」が行われ、2名の前団体長、3名の代表理事組合長が表彰を受けられ、北海道漁業共済組合長・北海道JF共済推進本部長の鎌田光夫氏から表彰状と記念品が授与されました。

〈団体長としての表彰〉

櫻庭 武弘さん

北海道ぎよれん前代表理事会会長
北海道信漁連元代表理事会会長

安藤 善則さん

北海道信漁連前代表理事会会長

〈代表理事組合長としての表彰〉

時田 清一さん

鶴川漁協 代表理事組合長

川崎 一好さん

厚岸漁協 代表理事組合長

阿部 滋さん

紋別漁協 代表理事組合長



左から櫻庭さん、安藤さん、時田さん、川崎さん、阿部さん

川崎会長 挨拶(要旨)

平成26年度の事業実績

本道の漁業生産は、はたてが史上最高の水揚げとなったのを始め、秋鮭・昆布など基幹魚種を主体に魚価が堅調に推移し、水揚げ金額は二千九百八十三億円と、三千億円には届かなかったものの、前年を上回ることができました。

しかしながら、数量的には、前年を若干下回り、地域間格差も依然として続くなど、資源回復対策が引き続き大きな課題として残った一年となりました。



流通面では、海外の水産物需要が増加の途をたどる一方で、国内においては消費の低迷が続く、いわゆる消費構造の二極化が一段と進むなか、関係団体とも連携しながら、円滑な流通の実現に向け、国内外の需給動向を勘案した各種流通対策事業に取り組みました。

基幹魚種のうち「秋鮭」については、漁期中盤以降の漁獲が伸びず、十万七千トンと、前年を一割下回る水揚げに留まり、浜値は維持したものの金額は前年に届きませんでした。

秋鮭製品の消流については、押しなべて順調に推移しましたが、製品高による消費の停滞が懸念される情勢のなかで、本会としても、関係団体との連携による輸出や生鮮流通の拡充など各種対策を実施し、一定の成果をみる事が出来ました。

「はたて」については、過去最高の四十八万トンを超える水揚げとなるなか、堅調な輸出により浜値も上昇し、九百億円規模の過去最高の水揚げ金額となりました。

この一方、製品の流通については、国内仕向けが減少し、売り場の縮小が一段と進み、国内マーケット確保に向けた課題が残りました。

「昆布」については、一万八千トンまで生産が回復しましたが、依然として減産基調が続くなか、関係団体や生産漁協との連携によ

る生産回復に向けた試験事業を継続して実施したところであります。

また消費が伸び悩むダシ系銘柄の需要喚起に向けた各種宣伝・普及活動にも取り組みました。

「一般魚種」については、前年の四月に稼働を開始した「鮮魚セクター」を核に、全道規模での鮮魚流通加工ネットワーク事業の強化を図り、魚価維持と末端ニーズに対応した商品開発とその販売に総力をあげて取り組みました。

以上により、平成26年度の本会販売事業取扱高は製品扱・市場扱ともに計画・前年を上回る結果となりました。

購買事業のうち燃油については高い系統利用率を背景に全漁連とも連携し、仕入力の強化と安定供給の確保に努めました。

また漁業資材については、購販推進活動や部会と連携し、地域の実態に即した系統ブランド資材の開発や利用の拡大に努めたところであります。

購買事業の取扱高は、原油価格の下落により燃油の金額が減少しましたが、定置資材など他分野の取扱いが増加し、前年並の取扱高を確保することができました。

指導事業については、漁政活動を引き続き強化し、全漁連や全道組合長会議等との連携を図りながら各種要請活動を行ったほか、会

員とともに国の補助事業の有効活用にも努めました。

この内容については、先ほどの組合長会議の決議実行経過で報告の通りであります。

指導教育事業においては関係団体とともに漁協経営健全化に向けた取り組みを継続実施したところであります。

また関連会社については各社とも、本会と一体となった事業推進を図り、いずれも黒字決算で終わることができました。

経営面においては、リスクマネジメントの強化に取り組んだほか、一層の財務基盤強化に努めました。

以上の結果、平成26年度の総取扱高は平成5年に次ぐ三千三百七十九億円となり、収支についても当期末処分剰余金段階で、七億四千万円と、前年を大きく上回る業績となりました。

なお、剰余金の処分につきましては、地区組合長会議で、ご解を頂いた内容に沿った形でご提案致しておりますので、承認のほどお願い申し上げます。

平成27年度の事業計画

次に平成27年度の事業計画の考え方について申し上げます。

販売事業の推進にあたっては、国の内外で消費の二極化が進むなかで、「国の成長戦略としての輸出促進に向けた海外市場開拓」を推進させながら、水産食糧基地として「国内需要者に対する安定供給確保」という使命をしっかりと踏まえ、安定した流通の確保に向け、総合的な流通対策事業を更に継続強化して参る所存です。

購買事業については、漁業コスト削減に向け、浜との連携をさらに強化し、機能の充実を図って参ります。

指導事業では、本道漁業の持続的発展のため、資源増大管理対策や漁業経営の体制強化対策など、先程の全道組合長会議で確認された決議事項の実現に向け、組織を挙げて取り組んで参ります。

今年もまもなく半年が経過しようとしております。

TPP貿易自由化交渉が大詰めを迎えている他、オホーツク海域のはたて被害や、ロシア海域での漁業存続の問題等を抱えるなど、本道漁業にとって内外情勢は不透明で厳しさを増しております。

本会と致しましても、浜との連帯をより強固なものとしながら、ともにこの難局を乗り切り、将来ともに魅力ある本道漁業の実現に向け、果敢に挑戦して参る所存でございます



ので、会員各位の特段のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

本日の提出議案について充分なるご審議とご理解を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

浜のご意見番 購販推進地区委員長に聞きました。

ぎよれんの仕事、ここが **あっぱれ!** ここは **喝!**

ぎよれんでは時代の変化に対応し、様々な課題に向き合い事業を展開しています。このコーナーでは、漁協購販推進地区委員長に、ズバッと仕事ぶりを評価してもらい、強い北海道漁業の推進に取り組む糧にしたいと思います。

今回のご意見番は、釧勝地区の佐貴貞雄委員長(白糖漁協)です。

佐貴委員長プロフィール

昭和21年、白糖町生まれ。7人兄妹の4番目。父親は漁師でしたが、学業を終えると理容師の道へ。釧路や東京で修業しましたが、24歳で一念発起し漁師の仲間入り。鮭鱒流網漁をはじめ、いか釣、かに籠漁などに従事。現在の主力はつづ籠漁。漁師として大切にしているのは、「ウソをつかないこと」と「人とのつきあい」。

6月に釧路で開催された委員長・事務局長会議後、佐貴委員長の発案で懇親会が開催されましたが、漁業の話や若かりし日の思い出話に盛り上がり、委員長同士のつながりも一層強くなりました。



購買事業について

☆ここは、あっぱれ

⇒ 資材購入時の相談役になってくれる

系統ブランド資材の利用推進に取り組む一方、商品の特性や漁業者の使用実態にも目を向けて、経費のかからない資材を提案してくれる。他社製品の情報もきちんと教えてくれるので、自社製品の良いところしか宣伝しない営業マンより信用できる。これから購買資材の購入に関する良きアドバイザーとして、知識と実績を積んでほしい。

★ここが喝!

⇒ 取扱い商品の宣伝機会を有効に活用すべき

漁協の購販推進委員長や地区委員長に就任して、ぎよれんの購買部が燃油や網、養殖資材以外にも多くの漁業資材を扱っているのがわかった。バッテリーなどは国産メーカー一品で他地区でも評判が良いと聞いているが、各種会議や研修大会など人の集まる場所でもっと宣伝するべきだ。

販売事業について

☆ここは、あっぱれ

⇒ 徹底した衛生管理による食品工場の運営

昨年の全道地区委員長会議で視察した石狩の新工場や茨城県鹿島の工場研修では、工場の従業員がドアに手を触れることなく加工室に入出入りしていた。また足元の作業長靴の消毒管理、作業工程の細かなチェック表による衛生管理など、新商品開発のみならず、食品加工の衛生面での取り組みは、他の漁協食品工場の模範となる取り組みだと感心した。今後も工場衛生管理の指導的役割を担い、浜のために働いてほしい。

★ここが喝!

⇒ 漁師が暮らしていけるような魚価形成を

漁協の信用事業も共済事業も、漁家の暮らしが成り立ってこそだと思う。近年は販売先の開拓だけでなく、魚価対策にも積極的に取り組んでいると感じているが、魚種によっては十分とはいえない。価格が乱高下せず、安定すれば漁業者も安心して家業に取り組める。値決めの調整役だけでなく、場合によっては臨機応変に入札にも応じるなど、魚価回復の先導役として活躍してほしい。

指導事業について

☆ここは、あっぱれ

⇒ 漁業者間の組織活動

昔に比べ組合職員の数も減り、とくに指導部門は専任職員が配置されづらい環境にある中、ぎよれんが各種研修会の開催や、組合長会、専務参事会、職員協議会、青年部など多くの事務局の仕事をごなしているのは評価できる。自分も地区会長に就任し札幌の会議などに出席することで、漁業に関する見聞を広められている。今後も一層熱心に取り組んでほしい。

★ここが喝!

⇒ 浜の人たちに「ぎよれん」を知ってもらう努力を

「ぎよれん」といえば、いまだに「俺たち漁師から手数料を取る団体」としか思っていない漁師もいる。自分も購販推進活動を通じてはじめて「ぎよれんの仕事」を理解するようになった。近年ぎよれんの新人は、春の稚貝出荷手伝いや、昆布漁時期の漁家研修、秋鮭時期の荷捌き応援と、漁協や漁家での研修で浜との交流を深めているが、ぜひ続けてほしい。漁業者・漁協・ぎよれんが直線でつながると、漁業者とぎよれんの距離は短くならないが、輪になれば距離はなくなる。知恵と工夫でできることから見直そう。

道漁青連が平成27年度第1回地区会長会議・ぎよれん役職員との懇談会を開催



全道の地区会長が出席して、本年度の活動方針が協議されました

道漁青連の27年度活動計画は、「①仲間とともに、②漁協・系統とともに、③社会とともに」を基本指針に据えて、仲間との研修、系統事業への参加、食育・漁業紹介活動に取り組めます。

なかでも、学習・研修活動としては札幌での全道大会、道内を4つの地区に分けて行っているブロック別幹部研修会、地元地区大会の開催を通じ、地域、従事する漁業の枠組みを越えた連帯の輪を広げます。

また、組織活動としては、地区会長が交代で札幌市内の小学校で開催する「漁師さんの出前授業」に加え、地元での出前授業の開催を推進します。



毎回大人気。道漁青連地区会長による「漁師さんの出前授業」

6月5日(金)、ぎよれん本所会議室において、北海道漁協青年部連絡協議会(道漁青連)の第1回地区会長会議が開催されました。

会議では本年度の活動方針と地域での活動計画が協議され承認されました。

また、引き続き開催された「ぎよれん役職員との懇談会」では、本道漁業を取り巻く諸課題や青年部活動について話し合わせ、リーダーとしての自覚が高められました。

道漁青連役員と

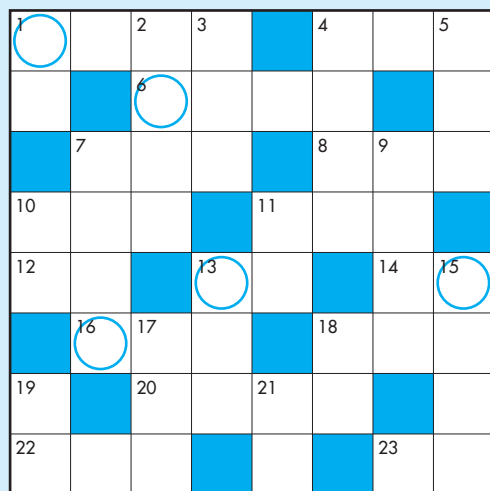
ぎよれん役職員が情報交換

懇談会では、ぎよれんの事業計画、漁業補助制度の概要や漁業経営安定対策・トド被害に対する主な対策事業等について説明がありました。一方道漁青連からは、はたての貝毒規制やザラボヤ被害対策、購買資材の魚箱取扱い、鮭鱒流し網の出漁見込み等について質問が出されるなど、熱心な意見交換が行われました。



ぎよれんからの情報提供と、地区会長からの質問で、活発な懇談会になりました

クロスワードパズル



○印に当たる言葉を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。



**6月号の解答と当選者
アジサイ**

(函館市) 熊谷千賀子さん
(北斗市) 小藪 来実さん
(厚岸町) 佐藤 紀葉さん
(浜中町) 橋本 邦子さん
(岡山県) 津内 洋史さん

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。海にキャンプにバーベキュー…お祭りに花火に盆踊り、夏にはイベントが満載ですね。子供の頃の思い出といえば、「学校の宿題や自由研究に追われていた」「毎朝のラジオ体操」という方も多いのではないのでしょうか。大人になっても海に山に、夏を楽しみたいですね。

タテのカギ

- ① トンボの幼虫
- ② ヒゲを剃る道具
- ③ 飛行機のテイクオフ
- ④ ティッシュと○○○○はポケットに入れておきたい
- ⑤ ジョッキでグイッといく
- ⑦ サイコロを投げて「6」の出る○○○○は6分の1
- ⑨ 固体⇄
- ⑩ 鬼の頭に生えている
- ⑪ 日本ではセ氏、アメリカでは?
- ⑬ お札の真ん中の部分にある、偽造防止の絵柄
- ⑮ 野球やテニスの硬式でない方
- ⑰ 船を留めるために水底に沈めるおもり
- ⑱ 海や川で糸を垂らし、魚をとること
- ⑲ 同じ話を聞かされると耳にできる
- ⑳ 夏は南よりこちらが涼しい

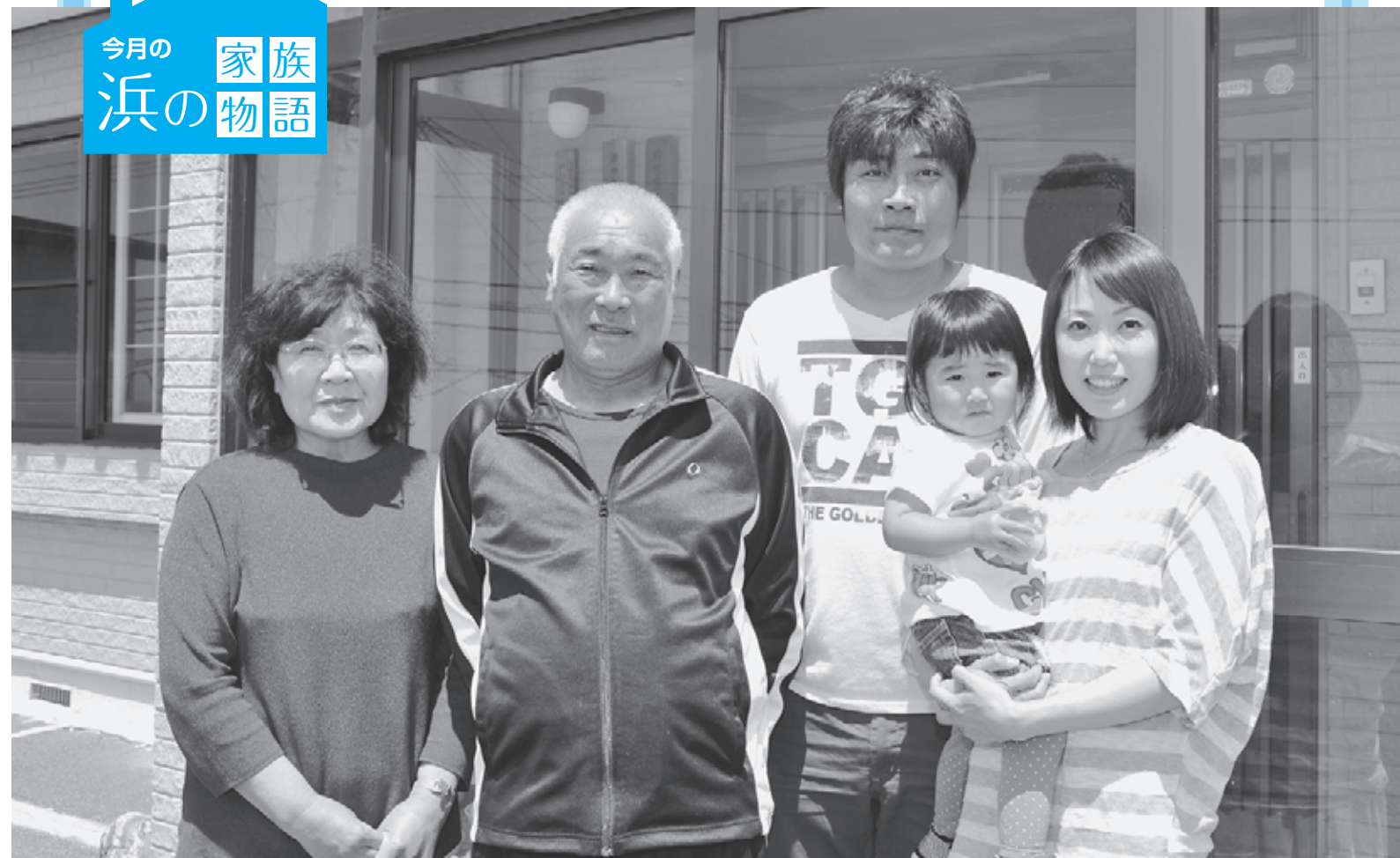
ヨコのカギ

- ① 成長すると大きめの貝にお引越し
- ④ 夏の夜空に打ち上げる
- ⑥ 100万枚以上売れたら○○○○セラー
- ⑦ アクセルを踏み込んで
- ⑧ おたまじゃくしの親
- ⑩ お刺身=○○○○
- ⑪ 負けず嫌いな性格
- ⑫ おにぎりに巻く
- ⑬ 握り○○、手巻き○○、ちらし○○
- ⑭ ここから牡丹餅が…
- ⑯ 後から加えること
- ⑰ ベッドが2つの部屋
- ⑲ 本日はご予約のお客様のみのご利用です
- ⑳ 水が凍ったもの
- ㉑ 夏の次にやって来る

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の 浜の家族物語

いわ た 函館市漁協 岩田さんご家族



【岩田さんご一家】 岩田孝行さん(36歳)、久美子さん(36歳)、彩花ちゃん(1歳)

※孝行さんの父・政弘さん、母・照子さんと共に。

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。今回は、函館市漁協の岩田さんご一家です。

体を動かすのが性にあってる

漁師になって10年の孝行さん。父、政弘さんと船に乗り、昆布漁を営んでいます。取材に伺ったのは養殖昆布漁が少し落ち着いた6月上旬。3月の養殖わかめ漁から忙しい日が続いている孝行さんは「昆布漁師は肉体的には大変な仕事だよ。子供の頃は学校に行く前に手伝うのが憂鬱だったな」と話します。しかし、漁師になった今となっては、「せっかちな自分の性格にはあってる。体を動かすのは好きだからね」と笑って教えてくれました。

そんな孝行さんの趣味は地元の社会人チームでプレーしているサッカーと『うに採り』。「仕事というより趣味」と言ううに採りは4月末から7月中旬までの期間限定とあって、余計に熱が入るようです。

夏は仕事も趣味も忙しい

地元函館出身の久美子さん。実家は山の方で、祖

父は農家だったため、漁業には縁がなかったと言います。「ここは景色が本当にいいんです。函館山はもちろん、晴れていれば、津軽海峡を挟んだ対岸の大間も見えるんですよ」と教えてくれました。

娘の彩花ちゃんは動物好きな1歳児。今年の養殖昆布漁では、昆布を干す作業のお手伝いをしたそうです。

8月から始まる天然昆布漁に続き、採った昆布の出荷作業、養殖昆布の種付け作業と、しばらく忙しい日々が続く岩田家。趣味のサッカーもハイシーズンを迎え、昆布の作業の間にサッカーをしてる、と孝行さんは話します。試合の時には、久美子さんと彩花ちゃんが応援に行くこともあるとのことで、仕事に趣味にと充実した日々となりそうです。



函館山がきれいに見える絶妙なロケーションにテレビ撮影の依頼もあるそう



間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5か所の異なる点があります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17ページにあります。

道産水産物について、子どもにもわかりやすく伝えます

北海道の水産物を学ぶための食育DVDを製作しました 03

ぎょれんでは、北海道の水産物について子どもたちが分かりやすく学べるDVDを製作しました。北海道で獲れる水産物の種類や栄養、安全・安心な水産物を供給するための取り組みについても紹介しています。DVDには大人向け、小学生向け、幼児向けと3パターンの動画が収録され、子ども向けには箸の持ち方やおさかなクイズを折込むなど、対象年齢に応じた内容となっています。今後はぎょれんや各協議会などが主催する食育教室で使用するほか、各漁協、関係団体へ配布して活用していただく予定です。

なお、ぎょれんのホームページでも7月中旬から公開予定となっていますので、ぜひご覧ください。



子ども向けにはキャラクターを使用して、楽しく学べるようにしています

たくさんの人に春鮭鱒の美味しさを伝えます

今年も新千歳空港で春鮭鱒大試食会を実施します 04

7月11日(土)、12日(日)の2日間、新千歳空港センタープラザにて「2015 春鮭鱒 時鮭&紅鮭&鱒 大試食会」を実施します。このイベントは今回で3回目。空港を行き交う道内外のたくさんの人に、旬を迎えている時鮭・紅鮭・鱒の春鮭鱒の美味しさを知っていただくのが狙いです。新千歳空港にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

また、札幌など道央圏と釧路・根室の道東圏では6月に春鮭鱒をPRする新聞チラシを折込みました。同じものを本誌に折込んでいますので、こちらでもご覧ください。

《日 時》7月11日(土)、12日(日) 各日11時～

※予定数量を配布次第終了

《会 場》新千歳空港センタープラザ

《配布数》時鮭、紅鮭、鱒の食べ比べができる手まりおにぎり3種を各日1,000人前配布



前回(昨年7月)実施時の様子



チラシは本誌に折込んでいます
ご覧ください

「道ぎょれん会 お取引先懇談会」が開催

全国から参加いただいたお客様と懇親深める 01

5月28日(木)札幌市のホテルで、ぎょれんが主催する「道ぎょれん会 お取引先懇談会」が開催され、全国から186社、284名のお客様が参加されました。

主催者を代表して川崎会長が主要魚種である「ほたて」「秋鮭」「昆布」の生産動向に触れ、供給量の回復に向け全力で取り組んでいきたいと説明。課題となっている漁業後継者の育成については、「自分達の子や孫に漁業の魅力をしっかり伝え、漁業を魅力ある産業に育てていかなければならない」と述べ、生産と供給の安定に更なる努力を続けたいと強調。お取引先様のご支援のもと、北海道の漁業、日本の漁業を支えていきたいと歓迎のご挨拶を締めました。

続いて西副会長が本道漁業の概況について報告。「北海道の漁業 この1年」と題した説明の中で、本道漁業の生産推移、魚種別水揚げ高や道産水産物の消費拡大への挑戦等をポイントを絞って紹介しました。

また、特別講演では医師で作家の鎌田實氏により「困難な時代をどう生きるか」と題した講演が行われました。

懇親会では、選りすぐりの道産魚介類がふるまわれ、とびきりの美味しさをアピールしました。



全国から大勢のお取引先様を招いて開催されたぎょれん会



本道漁業の概況について解説した西副会長



懇談会主催者として挨拶する川崎会長

自分らしく輝くすべての女性のための祭典

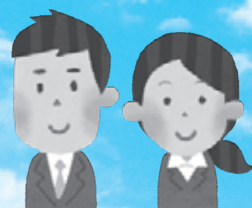
ウーマン・エキスポ 東京で道産昆布をPRしました 02

5月23日(土)、24日(日)の2日間、東京ミッドタウンにて、日本経済新聞社・日経BP社が主催する女性のための祭典「ウーマン・エキスポ東京2015」が開かれ、北海道こんぶ消費拡大協議会とぎょれんが道産昆布のPRを行いました。

「自分らしく輝く女性のための祭典」とあって、2日間の来場者は美と健康に敏感な女性ばかり約13,000人が詰めかけ、会場は大盛況。女性向け健康雑誌「日経ヘルス」で紹介された道産昆布の効能を紹介する冊子を配布すると、「アンチエイジングに役立つ」「内臓脂肪に効く」といった内容に興味を持ち、昆布のだしの取り方や万能調味料「昆布酢」の作り方などを熱心に質問する方も多数見受けられました。また、昆布を水に入れてだしを取る「水だし」を知らない方も多く、その手軽さを知ると「ぜひやってみたい」との声も聞かれ、昆布の良さや使い方を多くの方に知ってもらう催事となりました。



熱心に昆布について質問する来場者。昆布の原藻展示(右奥)では、「こんなに種類があるとは」と驚き、写真を撮る方も



本所から こんにちは

ぎょれんには浜に密着した「産地支店」、消費地での営業を行う「消費地支店」とともに、各事業の専門部署で構成される「本所」があります。このコーナーでは、普段、浜のみなさんと直接接することが少ない本所の各部署を1カ所ずつご紹介します。

今月は 購買部 です



私たちのお仕事三本柱

①石油製品の販売

主に漁業用燃油を扱っています。全道の漁協と「共有燃油施設網」を構築し、燃油の安定供給と価格の低減化に努めています。

②系統ブランド資材の販売

漁業者のコスト削減のため、系統独自の資材を開発、販売しています。海外で製造した刺網やほたて養殖籠、フロートをはじめ、国内の提携メーカーと開発したバッテリーなどが主力です。これからも漁業者の意見を取り入れながら新商品の開発を目指します。

③ダンボール・包装資材の販売

全道の昆布パットや段ボール、木箱や発泡スチロールを扱っています。昆布パットは、全道の使用分を取りまとめすることで価格を牽制し、低価格を維持しています。



ぎょれん花咲油槽所は根室管内の燃油需要を一手に引き受けています



系統ブランド資材をよろしくお願いします

浜の
みなさんへ

「最も浜に近い部」との自負を持ち、 商品開発や改良に努めています。



購買部
阿部部長

当部では、漁業用燃油を始めいろいろな資材の供給をさせて頂いていますが、中でも、漁業者の皆さんの漁労コストを少しでも軽減するため、「系統ブランド資材」の拡販に力を入れています。一定品質の製品をできるだけ廉価でご提供させて頂くため、各地区において定期的に系統ブランド資材評価委員会を開催し、皆さんからご意見をいろいろ伺いながら、商品開発や改良に努めています。時には浜から厳しいご意見を頂くこともありますが、「最も浜に近い部」との自負を持ち、皆で頑張っています。若手が多いので、皆さんから教えて頂く場面が多いとは思いますが、どうぞよろしくご指導の程お願い申し上げます。

植樹本数200万本へ向けて!

今年も「お魚殖やす植樹運動」植樹行事が行われました

6月3日(水)、当別町にある道民の森 神居尻地区内「水源の森」にて「お魚殖やす植樹運動」植樹行事が行われました。昭和63年から行われているこの取り組みは、今年で28回目の開催となります。一昨年に植樹本数が100万本を突破してからも全道で積極的に植樹が行われており、200万本の植樹に向けて、今年も多くの苗木が植えられます。

曇りがちなが蒸し暑い天気となったこの日、当別町の道民の森には北海道女性連や地区漁協組合長会議、地区漁協専務参事会、コープさっぽろ、農林中央金庫、道水産林務部、ホクレン、道内の水産関係団体など27団体から140名以上が集まりました。今年は過去最も多くの参加者により植樹が行われ、ニレやイタヤカエデ、ミズナラなど、750本もの苗木が植えられました。

開会挨拶では、ぎょれんの西副会長が植樹本数が100万本を突破したことにふれ、「継続は力。100万本の次の200万本を目指し、1本1本愛情込めて植樹をしてください」と挨拶しました。先日全道漁協女性部の会長になったばかりの國分会長は、植樹参加者への感謝を述べるとともに、「子や孫、未来の子供達へ、安全で安心な美味しい魚介類を食べてもらうため、これからも植樹活動に取り組んでいきたい」と今後の植樹活動への抱負を語りました。また、今回の植樹には道水産林務部の職員も多く参加しており、水産林務部森林環境局の及川局長は「この取り組みは全道のみならず、全国でも知られていて、森づくりの重要性の普及啓発にも意義深いもの」と話しました。

その後参加者は石狩北部森林組合の六角代表理事組合長から苗木の植え方やうさぎの食害についての説明を受け、植樹を行いました。なお、この日の午後は雨となり、植樹直後の苗木にとっては、まさに恵みの雨となりました。

今回の植樹行事を始めとして、道内各地で植樹活動が行われており、今年度も3万本以上の苗木が植樹される予定となっています。



ぎょれん 西副会長



道女性連 國分会長



石狩北部森林組合
六角組合長による植樹指導



編集部からのお知らせ

皆様からの便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿(便り、写真、イラスト等)や、広報なみまるくん7月号への感想・ご意見など
- ②11ページのクロスワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉7月21日までにお送りください。

(郵便) 〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 営業企画部 広報担当
(FAX) 011(271)0843
(電子メール) info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

11ページの間違ひさがしの答え



なみまるくん6月号インフォメーションの「47名の研修生が研修への思いを新たにしました」を読んで、漁業後継者の育成の大切さを強く感じています。

(島牧村 泉谷泰三さん 87歳)

6月15日解禁の棹前昆布漁ですが、浜中は沖止めでした。散布は沖出になったと聞き、親戚の所へ手伝いに行っていました。一年ぶりに触る昆布は、長くて実入りも良さそう、何かワクワク。手が足りない時、助け合っのが浜の人のいい所だよね。

(浜中町 橋本邦子さん 61歳)



今年5月中旬よりうに漁、6月中旬よりなまこ漁が始まりました。今後の風次第で水揚げが左右します。好天を祈念します。

(小樽市 宮古知行さん)

棹前昆布漁も始まりましたが、天候が悪くまだ出漁も出来ません。天気が良くなり安全操業で大漁出来まよう願うばかりです。

(浜中町 K. Aさん 63歳)

南茅部のひろめ舟祭りが6月6日にありました。鳥羽一郎さん、小川豊さんの歌があり楽しいステージでした。色々な催しがあるので、見たことのない人は一度来てみて下さい。まっす。

(函館市 I. ーさん 67歳)

今年の昆布漁は6月25日よりです。いつもより一週間早く始まります。体に気をつけて頑張りましょう。

(浦河町 若林秀章さん 47歳)

「浜のおかあさんレシピ」は料理の苦手な私にとって、大変参考になっています。

(釧路市 山下有理さん 35歳)

なみまるくん6月号に掲載された地元の高松紹介、よかったです。

(厚岸町 佐藤紀葉さん 16歳)

雨が多いですね。野菜を少々作っています。雑草にはありがたいのですが、私たちの口にはいつ入るのやら。

(初山別村 白府美恵子さん)

山には残雪、海にはシャチ群。これを見ながら、サケ定置網の土俵入れ。

(羅臼町 川上昭一さん 80歳)

父の仕事先は漁協で、今年は時鮭が獲れないと言っています。その最中に時鮭を買ってきけてくれましたが、美味しかったです。もっと沢山獲れればいいですね。

(様似町 匿名 35歳)

中国地方も昨日より梅雨に入り、今日も一日じめじめしています。梅雨の時期が長いので、その時は北海道に帰りたいですね。

(岡山県新見市 津内洋史さん 56歳)

編集後記

なみまるインフォメーションでお伝えした東京での昆布PRに参加。展示した昆布から広がる磯の香りに、「いい香りがする」と思ったら、昆布なんです。とくんくん匂いを嗅ぎに来る人が多数。とろろ昆布の旨みだけで作ったスープを試食してもらって、「ほんとに昆布だけ？」と驚く人多数。ホンモノのおいしさは体験してもらって伝わる。イベントの心地よい疲れと手ごたえを感じた2日間でした。

(工藤)

友人の結婚式で神戸へ行く機会に恵まれました。せっかくだから、京都へも足を延ばしたのですが、気になるのは昆布屋さんばかり。昼食はもちろん、コンビニのカップうどんまで昆布だしてあることを確認して、なんとなく誇らしい気持ちになりました。

(矢幡)

無理するな 命はひとつ 安全操業

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

大漁祈願！

news 浜のほつとニュース

小樽

6月初旬から、ぶりが後志南部を中心に大漁となり、浜は活気づきました。序盤は1尾7～8kg台の魚が多く見られましたが、徐々に魚体が小さくなり、水揚げ量も落ち着いています。また、夏漁シーズンの到来を告げるうに、なまこ等の磯廻り漁が各地で解禁されました。中国・香港へ多く輸出されるなまこについては為替相場の円安傾向を反映し、昨年より高値を付けているケースが多くなっています。

室蘭

管内春定置網漁は終盤を迎えておりますが、漁模様は精彩を欠き、主力の本鱒、時鮭は薄漁から浜値は高値で推移しています。水揚げは昨年を下回って今シーズンを終了しそうです。また、管内の毛がに簗漁が6月22日の噴火湾地区を皮切りに、7月には太平洋地区が解禁予定となっており、今後の漁に期待がかかります。生産者の方々の安全操業と大漁を祈願しています。

根室

強い日差しを時折見せ、肌寒い季節から短い夏へと切り替わり始めた当管内では、6月19日(金)より、この夏の風物詩とも言える野付漁協のしまえび打瀬網漁が開始されました。この漁は、船外機を使用せず、風の力と潮流のみを動力として沖に繰り出していく『打瀬舟』を使用した伝統的なものです。生産者におかれましては、漁期中の安全な操業と順調な水揚げに期待しています。

留萌

当管内では現在ひらめの水揚げが最盛期を迎えており、多い日では300ケース前後のひらめが水揚げされ、市場を白く染めています。また、なまこ漁が増毛で6月16日から、うに漁が焼尻で18日、天売で20日からそれぞれ始まり、いよいよ夏の訪れを感じられるようになってきました。続けて他の地区でも6月末から7月にかけてなまこ漁、うに漁が始まっていきますが、夏漁も安全操業と大漁をお祈りしています。

函館

函館では6月から、するめいかの水揚げが始まりました。初水揚げとなった6月2日の初セリでは、約300kgの水揚げとなった生簀いかは5,000円/kg、発泡に入ったいかは約40ケースと少ないものの、1箱30,000円の御祝儀相場価格がつき、去年の1箱7,600円を大幅に上回る価格となりました。これから徐々に水揚げが増えていき、函館近郊のスーパーなどにするめいかが並ぶ姿が多く見られるのではないのでしょうか。

釧路

春定置網漁が最盛期を迎えています。6月20日現在の管内累計水揚げ量は、豊漁であった昨年を上回るペースとなっており、今後の水揚げにも期待しています。また、一部の浜ではしまえび漁が始まりました。生産者によってボイルされたしまえびの鮮やかな赤が市場を彩っています。一方で棹前昆布漁は、天候を見計らったの操業が続いています。安全第一で当初計画通り出漁できることを願っています。

稚内

ほたて漁は全地区にて本操業が始まりました。6月より日本海地区では、夏なまこ漁が解禁となりました。また利礼地区においても、のなうに漁が解禁となり、水揚げ量が昨年よりも上回っているため今後の動向に注視しております。7月には利礼地区でもうに漁が全地区で解禁となり、管内昆布漁も操業が開始されます。戻る日が続き気温も徐々に上昇し、浜も活気づいておりますが、安全操業で豊漁となることを願っています。

梶山

ひやま管内では6月より、するめいか漁が解禁となりました。走りの水揚げは500～600ケースと少なかったものの、現在は5,000～6,000ケースにまで増えてきています。サイズは小型中心で発泡にバラ詰めされていましたが、今は18～20cmサイズの30尾型が増えてきています。これからさらにサイズも大きくなり、水揚げも増え全国各地に運ばれていくことでしょう。

日高

日高管内での6月期の春定置網漁は、6月20日現在、時鮭140.9t(昨年対比220%)と好調に推移しているものの、本鱒は74.0t(昨年対比85%)と前年を下回る結果となっています。その他の魚種に関しては、とりわけ、宗八が多い日で約40t、さばについては、平均300g/尾サイズのもので、約70t近くの水揚げがあり、6月に入り順調な水揚げが続いています。

北見

7月に入り気温の高い日が続き、オホーツク海も夏本番を迎えようとしています。浜ではほたて漁が最盛期に入り、たこ漁も本格化するなど夏漁が賑わいを見せています。8月にはほつき漁が解禁となり、順次水揚げを開始する予定です。今後浜は夏にむけて忙しさを増していきますが、皆さんの安全操業と豊漁を心より祈願しています。

夏の麺のお供にも、サクサク・プリプリかき揚げ

えびとホタテのかき揚げ

浜のおかあさん

レシピ



今回はえびとほたてを使った「えびとホタテのかき揚げ」をご紹介します。ご飯はもちろん、そばやうどん、そうめんのお供にもぴったり。えびとほたてのサクサク・プリプリの食感に、お箸が進みます。

材料(4人分)

- ・えび(中)・・・8尾
- ・小麦粉・・・1カップ
- ・ほたて貝柱・・・1個
- ・ベーキングパウダー・・・小さじ1
- ・三つ葉・・・1束
- ・塩・・・適量
- ・卵・・・1個
- ・揚げ油・・・3カップ
- ・冷水・・・1カップ
- ・レモン・・・1個

作り方

- ① えびの殻をむき、貝柱を適当な大きさに切り水気をきる。
- ② 三つ葉の根元を切り落とし、2cmの長さに切る。
- ③ ボールに卵と冷水を合わせ、小麦粉とベーキングパウダーを加えて混ぜ合わせる。
- ④ ①と②を合わせ、塩と小麦粉(分量外)をまぶし、③の衣と合わせる。
- ⑤ クッキングペーパーを7cm四方の大きさに切り、表面に④を乗せる。
- ⑥ 170°位の油にクッキングペーパーごと入れて揚げる。しばらくしてクッキングペーパーが自然に外れたらすくい上げる。
- ⑦ かき揚げをお皿に盛り、お好みでレモンを絞り、出来上がり。



東しゃこたん漁協

白岩 浪恵さん 熊木 和枝さん